

やぶなみ 公民館だより

発行日
令和2年4月8日
発行所
小矢部市立藪波公民館
〒932-0122
小矢部市浅地 672-1
TEL61-2046
FAX 同上



藪波川の調査会

藤田 一彦

4月4日(土)、これまで10数年続けている「ホタルの里を守る活動」としての環境美化を兼ねた藪波川の調査会をしました。

初めは、(株)LIXIL 横の下流から。まず川の水を採取して透明度や酸素濃度などを、高学年や高校生などが主に測定してくれます。ほかの子供たちは生き物がいそうな場所にたもをさし、川上から藻や草を足で踏みながら魚を追いつめます。去年は大きなナマズやトンボの幼虫等がいましたが、今回は大きめのザリガニやエビが多くいました。

次はやや上流へ移動。先ほどと同じ手順で調べます。水質は良好。見つかった生き物は、長さ7cm、幅3cmほどもある「ドンコ」や、長さ12cmほどの立派な「ドジョウ」等。「ドンコ」はハゼの仲間だそうで、25cmくらいにまで成長し、食欲で何でも食べるそうです。

3か所目はさらに上流、ガーデンヒル近くの橋の下。子供たちは川に入るなり石をひっくり返してサワガニを探します。サワガニは石と川底の隙間に入り込んでいるので、石をめくると姿を現すのです。例年ならば数匹見つかるのですが、残念ながら今回は一匹も見つけられませんでした。それでも、ホタルが餌にしているカワニナは多くいたので、今年もたくさんのホタルが夜空を舞い飛んでくれるのではないかと思います。

調査の結果、藪波川の水質はきれいに保たれ、よい環境にあると思われます。生き物は昨年と比べても、いくつか違いがありました。年々、数や種類が減ってきているように思われます。



透明度を調べている



生きもの調べをしています



川から上がり調査まとめる